



IIIXIL 土間スライディング 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●障子建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の障子重量は最大で約90kgになります。)

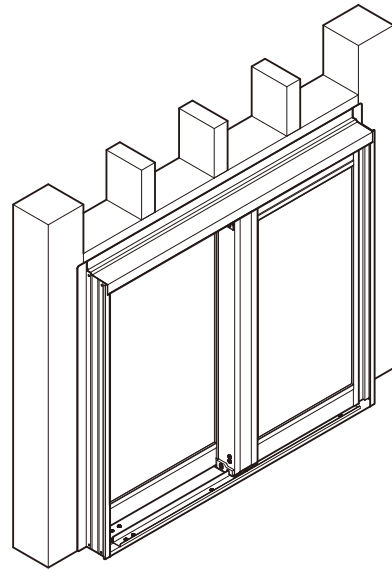


- 障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・躯体取付けねじは必ず枠取付けねじを固定した後に締め付けてください。
 - ・モルタルをしっかりとすき間なく充てんしてください。モルタルをしっかりと充てんすることはアルミ下枠の異常腐食防止にもつながります。
 - ・枠は必ず指定のねじで枠を固定し、下枠のモルタルが固まったことを確認してから、障子を建込んでください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
 - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。



●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売)を張ってください。(本文中の図参照) 漏水の原因になることがあります。

■取付け完成図



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	躯体取付けねじは浮きなくねじ止めしましたか？	☐
2	下枠が下がらないようにモルタルをすき間なく充てんしましたか？	☐
3	障子建込み、建付け調整後に、外れ止めを上げましたか？	☐

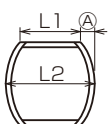
■取付けねじ一覧表

名称	
①～④ 枠取付けねじφ3.1×25(低頭ねじ)	
⑤ 躯体取付けねじφ3.8×38(皿木ねじ)	

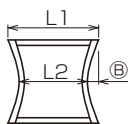
取付け上のお願ひ

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 取付け前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
- 枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
- 電動ドライバーを使用の際は、締め付けトルク1.5～2.0N・m{15～20kgf・cm}にて取付けを行ってください。
- 節などの硬い部分や硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

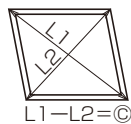
■サッシ枠のフレ・ツヅミ ■サッシ枠対角差 ■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ ■サッシ枠のねじれ ■サッシ枠の室内外のソリ



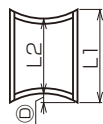
L2-L1	A
3	1.5



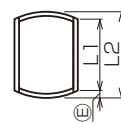
L1-L2	B
3	1.5



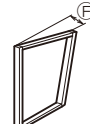
C
3



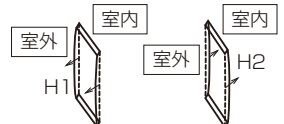
L1-L2	D
3	2



L2-L1	E
3	1.5



F
2



H1
1

H2
1

Ⅰ 枠の固定

▲ 注意



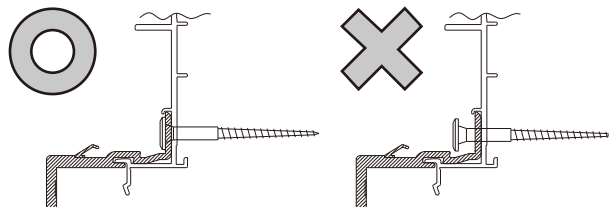
- ㊦ 躯体取付けねじは必ず枠取付けねじを固定した後に締め付けてください。枠が外側にころび、障子が脱落するおそれがあります。
- モルタルをしっかりとすき間なく充てんしてください。下枠が下がり、障子が脱落するおそれがあります。

※ 枠固定の取付け精度については、「取付け上のお願い」をご覧ください。

- ① 開口部の水平・垂直を確認し、① 枠取付けねじで枠を仮止めます。
- ② 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㊦を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじを㊦、㊦の順に固定します。

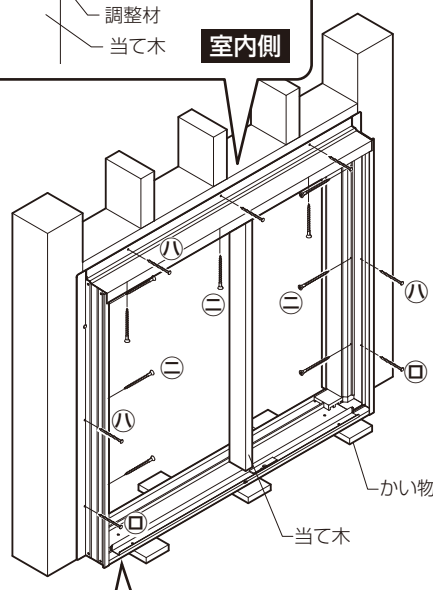
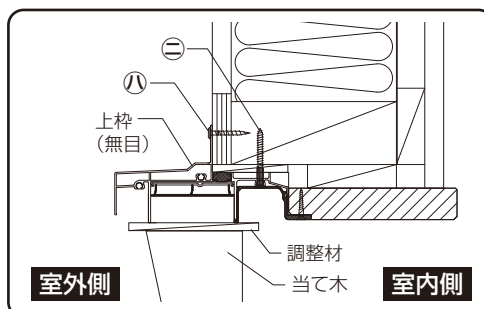
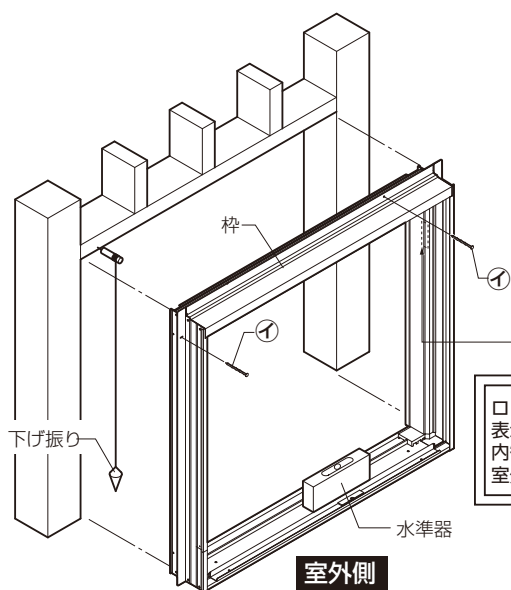
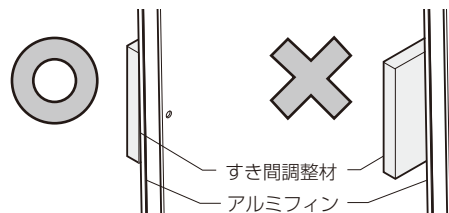
枠の固定上のお願い

- 右縦枠取付けねじの浮きに注意してください。ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむことがあります。



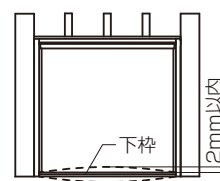
- アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

枠取付けねじを固定する際は、柱と縦枠および上枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。



ロットNo.
表示位置
内観左縦枠
室外側 (上方)

※ 下枠はかい物・当て木などをして水平を出し、モルタルの充てんにより2mm以上の狂いが出ないようにしてください。2mm以上の場合、障子・網戸が建込めない場合や性能が低下するなど不具合が生じる可能性があります。

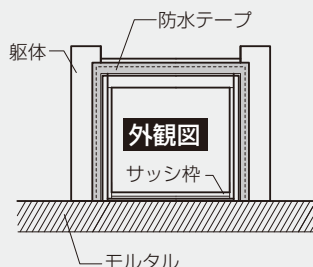


1 枠の固定(つづき)

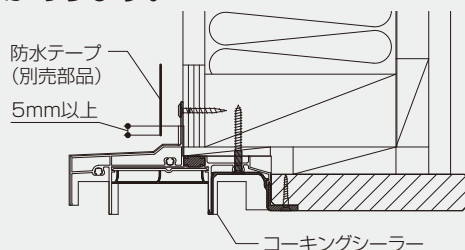
▲ 注 意



- 本製品取付け後、必ず防水テープ(別売)を張ってください。漏水の原因になることがあります。

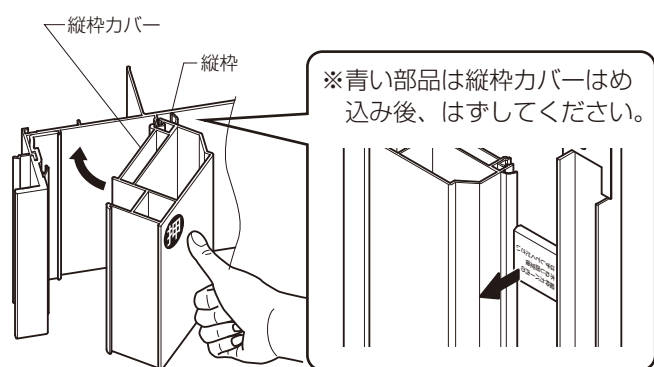


- フィンのコーキングシーラーに5mm以上ラップするように張付けてください。ただし上枠の天面に掛からないようにしてください。天面から水をすい上げて漏水の原因になることがあります。



- ③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。

※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。



2 建付け調整

戸車調整上のお願

- 外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)

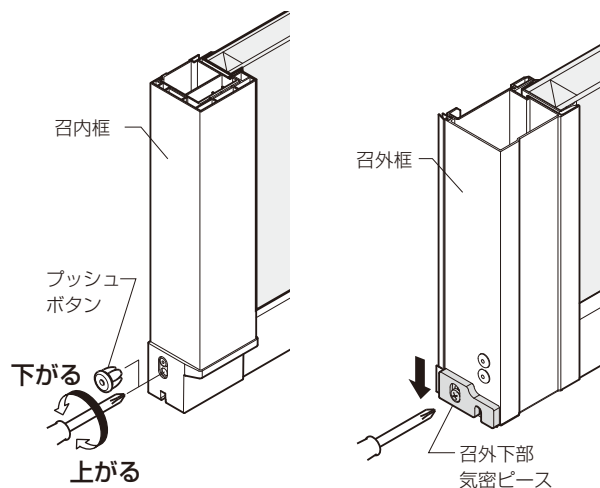
■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

【内障子の場合】

【外障子の場合】

※調整後はしっかりねじを締めてください。



■召合せ錠の調整

※本錠は調整が不要です。建付け調整をするだけで、施解錠操作ができます。

- ①施解錠操作を実施してください。
⇒問題なければ終了、問題があれば②へ
- ②建付け調整を行い、外錠と内錠の高さ方向のズレを5mm以下にしてください。

<外障子の戸車が上がっている場合>

- ・内錠の取付けねじをゆるめて錠本体を上へずらして再度固定してください。

<内障子の戸車が上がっている場合>

- ・外障子の戸車も上げて調整してください。

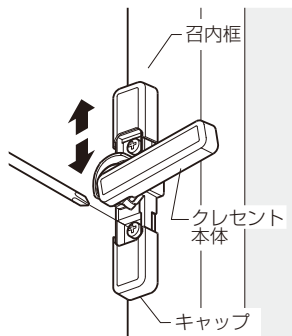
2 建付け調整(つづき)

■クレセント調整

【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①キャップを外します。
- ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

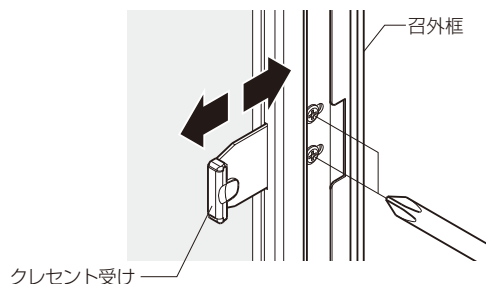


【左右方向の調整】(クレセント受け)

2 枚建て

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

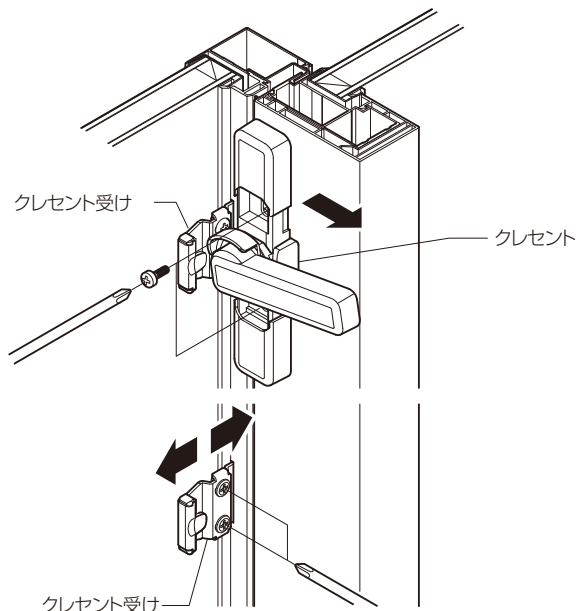


4 枚建て

- クレセント本体を取外してから調整してください。

- ①クレセントのキャップを外します。
- ②プラスドライバーでねじを外し、クレセント本体を取外します。
- ③プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はしっかりねじを締め、クレセント本体を取付け、キャップをしてください。



3 外れ止め調整

▲ 注 意



- 必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

外れ止め調整上のお願い

- 4枚建ての場合は内障子を建込む前に調整してください。

- プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

